

「2024年度香港中文大学サマースクール派遣参加報告書」

京都大学経営管理教育部 修士課程2年 堀 泰子

香港中文大学での3週間の語学留学は、私にとって大変貴重な経験となりました。英語や仏語は仕事でも使用するので、ある程度ビジネスレベルで話せるものの、中国語に関しては本当にほぼ何もわからない状態の0からの学びでした。中国語初級クラスでの学習ではありましたが、私にとっては旅行としての訪問ではなく、キャンパス内での3週間の間、午前午後のクラス、そして課題提出など集中して本気で学習に取り組む姿勢が求められました。私にとってのジレンマは、意味がわかるのに話せない。ピンインをローマ字読みで英語のように自分なりに発音してしまってなかなか慣れなかったことでした。学習内容の中でも特に中国語の発音は、語学に関してはこれまでなかった新しいチャレンジでした。しかし、今回のこの語学留学を通して得た学びと気づきは、今後のインバウンド観光や私の将来の進路に大きな影響を与えるものでした。

① 学習成果

留学に参加する前は、語学力に対する自信があり、3週間集中して学習すれば中国語初級に関してはある程度話せるだろうとなぜか根拠のない自信を持っていました。ただ、今までは中国語に対しても興味はありながら実際に学ぶことがなかっただけだったので、この機会に新たな3か国語への挑戦と思っていました。しかし、香港中文大学での学習を通じて、初めは授業についていくのが精一杯でしたが、徐々に教師とのコミュニケーションを通じて、自分の中国語力が向上していることを実感しました。特に今まではある意味「大きな音の塊」だった中国がなんとなく聞こえるようになったことは非常に大きな喜びでした。また、語学は単なる言語スキルだけでなく、その国の文化や歴史、そして人々の考え方を理解する手段でもあることも再確認できました。

このプログラムに参加したことで、私は次の留学についても強い関心を持つようになりました。今後はさらに語学力を高め、次のステップとして後期の台湾留学にも挑戦したいと思っています。また、中国語圏だけでなく、他の言語圏への短期留学にも挑戦したいという意欲が湧きました。国際的な視野を広げることで、さらにグローバルな環境での活動やキャリア形成に向けた基盤を築けると感じています。

② 海外での経験

香港での生活は、私にとって大きなカルチャーショックでもありました。最初に香港を訪れたのが40年以上前、最後に香港を訪れたのが中国への返還前のほぼ20年以上も前でした。イメージしていた香港とは違い、特に公共交通機関の利用方法などは日本よりも進んでいると思うことも多くありました。初めての寮生活に広大はキャンパスは最初は戸惑うこともありましたが、現地の学生やスタッフのサポートのおかげで、すぐに慣れることができ、次第に異文化への理解が深まりました。また、さまざまな国から来た留学生たちと課外プログラムを通して交流する機会を得たことで、異なる背景を持つ人々と「中国語を学ぶ」という中でのコミュニケーションの大切さを学びました。これは今後のインバウンド観光にも非常に役立つ経験だと感じています。観光業においても、異なる文化を持つ訪日外国人とスムーズにコミュニケーションを取るためのヒントが多く得られたからです。

③ プログラム内容

プログラムの内容は非常に充実しており、語学だけでなく、香港の文化や歴史についても学ぶ機会がありました。毎日の授業はもちろん、キャンパス内でのワークショップや課外活動を通じて、現地の文化を肌で感じることができました。特に印象的だったのは、歴史学科の香港の学生たちの交流でした。プレゼンテーションもあったの

で、事前課題として発表に向けての準備や実際の発表、その後の交流なども非常に意味のあるものでした。また、教授とお話しする中でいかに京都大学での学びや学生時代の交流が大切かという話など聞いたことも良かったと思いました。中国本土からの移住者や香港独自の文化を持つ人々、特に初級クラス担当の李先生からは中国から香港で英語で中国語を教えることの難しさなども個人的に聞くこともできたのが非常に役立ちました。また、プログラムの内容については、3週間週5日朝から夕方までの授業であったので、宿題も多く、土日も課外プログラムが組み込まれているので非常にタフな精神力と体力が必要だと思います。個人的には週の中で1日午後はフリーになる、または金曜日午後はフリーになるようなプログラムが良いと思っています。学生同士の交流はやはり、積極的に自分から話しかけないと同じ留学生同士の交流においては同国人で固まってしまうことが多いのはしかたがないことなのかとも思いました。日本の留学プログラムにも非常に興味があるので、多様な文化背景の中での参加者の交流や対応が重要なポイントとなると感じています。

④ 進路への影響

今回の留学を通じて、中国語圏での国際観光やインバウンドマーケティングに対する関心が一層高まりました。特に、中国語圏からの旅行者が増加する中で、彼らのニーズや文化的背景を理解し、より良いサービスを提供するためのスキルが求められることを実感しました。今後は、語学力だけでなく、異文化理解やホスピタリティのスキルを磨き、観光業界で活躍できるようなキャリアを築いていきたいと考えています。

今回の派遣プログラムは、私にとって非常に貴重な経験であり、今後のキャリア形成においても重要な基盤となるものです。今後もこの経験を活かし、さらに成長していきたいと思っています。